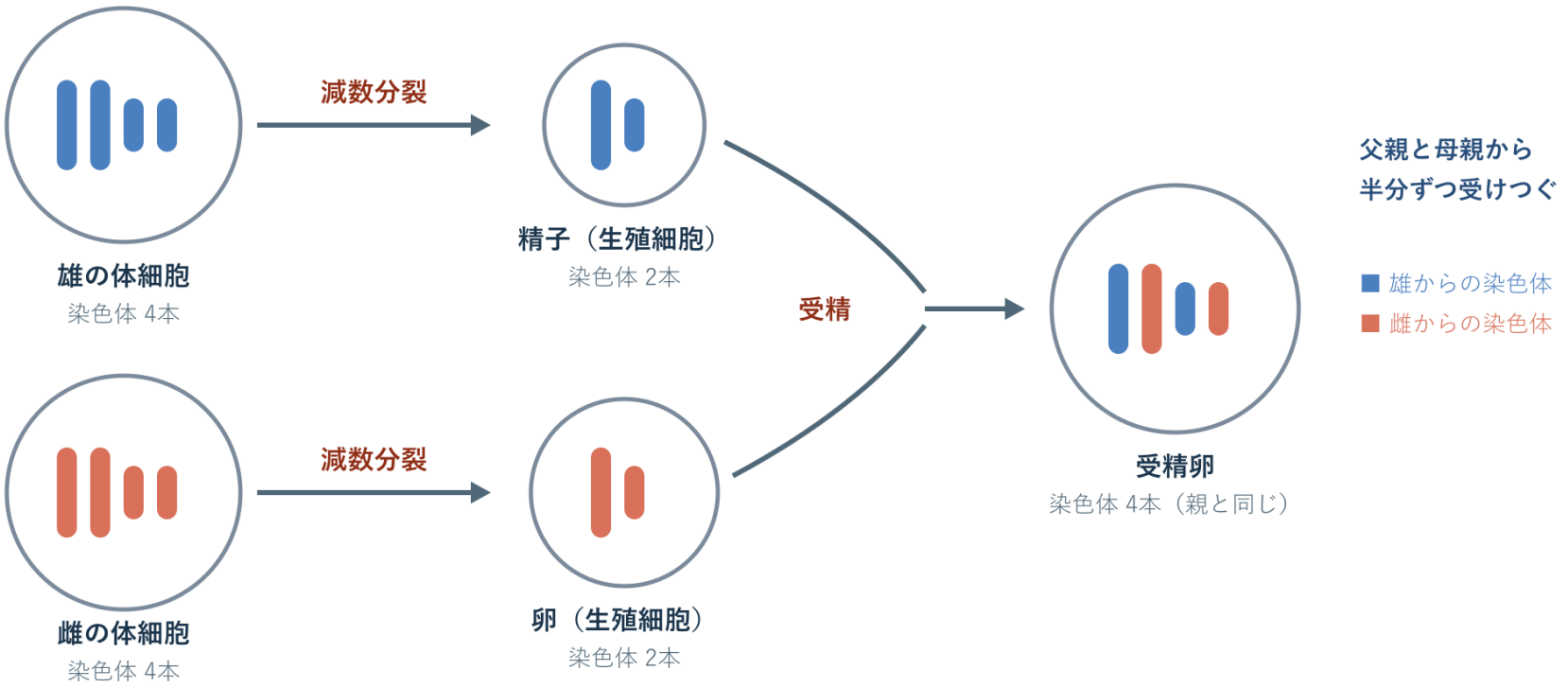
減数分裂と染色体

生殖細胞ができるとき、染色体の数はどうなるか



生殖細胞ができるとき、染色体の数がもとの細胞の半分になる分裂を、減数分裂という。

受精によって、受精卵の染色体の数は親の体細胞と同じになり、親の形質が子に受けつがれる。

染色体のモデル図。染色体の数（4本）は説明のための例で、実際の数は生物の種類によって決まっている（人は46本）。